

2024（令和6）年度 久留米信愛中学校・高等学校 学校自己評価表

2024年度、本校は以下のような目標・方針・計画をもとに、教育活動をおこないます。

※評価はA・B・C・Dの4段階で行います。

A：達成できた B：ほぼ達成できた C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

教育目標	カトリック精神を基盤とする教育理念の上に立ち、生徒の全人格的陶冶を目指す。 生徒一人ひとりが主体性を確立し、おのおのの可能性を最大限に開発して、絶えず自分を越えて学ぶ姿勢を生 涯持ち続けることのできる自己形成力を養う。 人間社会の多様性を理解し、とりわけ弱い立場に置かれた人を大切にする豊かな心を持ち、社会に秩序と平和 をもたらす慈愛、信頼、寛容、感謝、協力の精神を育む。	総合評価
年度目標	1. 「自己を他者に生かす」生き方の意識づけ 2. 「自律的な学習」の習慣化による「確かな学力」の育成	A

No. 1

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		
			中間	年度末	年間
宗教教育	○キリスト教カトリック精神に基づく信 愛教育の推進	朝終礼での祈りや授業前の黙想を通して、美しい姿勢を保つこと、沈 黙のうちに自己と向き合うことを習慣化させる指導をする。	A	A	A
生徒指導	○基本的生活習慣と規範意識の確立 ○主体性と協調性の伸長	自律確立週間などのお機会を設定して、「あすこそは」を実践する意識 を向上させる。	B	B	B
		部活動の活性化につながる方策を積極的に投げかける。	B	B	
		生徒会の活動が、年間の行事を見越して計画的に準備・実行し、反省 事項を次年度に確実に引き継げるよう助言と支援をする。	B	B	
		関係機関およびスクールカウンセラーとの定期的な相談活動を実施 し、相談体制を充実させる。	A	A	
教科指導	○自律学習の定着 ○計画的な業務遂行 ○ICT 教育の推進	「ステラ手帳」や「家庭学習リサーチ」の結果を活用した効果的指導 を促進する。	B	B	B
		新学習指導要領の円滑な実施、新テスト制度への対策を進める。	B	B	
		ICT を活用した授業の環境整備を進める。	A	A	
進路指導	○キャリア教育と受験指導の徹底 ○進路実現に向けての+αの学習や校外 活動参加の促進	新教育課程、入試改革を見据えた情報共有・発信を行う。	A	A	A
		学校企画の活動（ENAGEED・信愛まなび week・キzzaニアプログラム・ 職場体験等）を通じ、主体的学びの動機付けとなる機会を提供する。	A	A	
国際教育	○グローバル人材育成のための教科横断 型プログラムの企画運営 ○国際交流プログラムの企画運営とその 関連活動の支援 ○海外難関大学進学を視野に入れた一貫 教育の推進 ○インバウンド・アウトバウンド留学生 の支援	関係部署と連携し、グローバル課題や SDGs をテーマに課題探究型教育 活動を企画し、実施する。	B	A	A
		英語科と連携し、実践的英語学習の動機づけと実行を支援する。特に、 4 技能英語検定試験（英検・GTEC 等）の受験を奨励し、ICT を活用し た対策を支援する。	B	A	
		英語科と連携し、6 カ年を通じて実践的英語学習の動機づけと錬成の ための研修を企画する。	B	A	
		留学生（長期・短期）の受け入れに際し、生徒・ホストファミリー・ 学年・クラスとの連携を図り、相互理解を促進する支援に努める。	A	A	
研修	○教科指導力と学級経営力を中心とする 総合的指導力向上 ○各種研修会の的確な企画運営	学級経営を教科指導や部活動指導などと連動して行い、あらゆる面 において信頼される教師をめざすための研修の機会を提供する。	A	B	B
		全体研修の内容を精選して実施し、「Find! アクティブラーナー」を活 用して主体的に参加できる研修にするなどの工夫をする。	B	A	
ICT 教育 推進	○ICT 機器の積極的使用 ○ICT 環境の整備	ICT 教育を通して、生徒の主体的学びを推進する。	B	B	A
		生徒の円滑な授業や教育活動の環境を整える。	A	A	

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		
			中間	年度末	年間
家庭との連携	○後援会役員・評議員との事務連絡・調整 保護者との連携強化	後援会役員・評議員との意見交換を行い、信頼される学校づくりに反映させる。	A	A	A
	○信愛父親の会 Shin-ai Dads' Club との連携	父親の集まり「信愛父親の会 Shin-ai Dads' Club」を企画・運営し、保護者と学校とのつながりや保護者同士のネットワークを構築する。	A	A	
	○卒業生の保護者との支援体制の構築	歴代後援会役員会「百合の会」、卒業生やその保護者の支援を得て、学校の活性化を一層促進する。		A	
同窓会との連携	○卒業生と同窓会、学校とのつながりの強化	HP などを活用して積極的な情報発信を行う。	B	B	B
中学1年	○基本的生活習慣と学習習慣の確立 ○自己表現力とコミュニケーション能力の育成 ○深い学びに向かう姿勢の支援	規則正しい生活リズムと家庭学習の定着の支援を行う。	A	B	A
		自己の在り方を深く考え、互いにより認め合うコミュニケーション能力を養成する。	B	A	
		「探究活動リリウム」を通して、主体的・継続的に学び続ける面白さを発見するよう支援する。	A	A	
中学2年	○基本的生活習慣・家庭学習習慣育成 ○コミュニケーション基礎力育成 ○自律心・向上心・集団帰属意識の涵養	「ステラ手帳」の活用による三点固定と「学習ノート」提出による家庭学習習慣の定着を図る。	B	B	B
		「聞き手に伝わることば」を重視した自己表現活動の機会を設定する。	B	A	
		「探究活動」を通じた国際理解の推進と活動推進を図る。	B	A	
中学3年	○生活習慣と学習習慣の定着化 ○自己表現力とコミュニケーション能力の強化 ○一貫第Ⅱ期の始まりを意識させ、中学最高学年としての役割を果たす指導	「質より量」と考え、時間をかけて自分なりのやり方を試しながら学習方法を模索させ、定期考査や高校進学テスト、検定等に向けて十分な準備をして臨むように促す。	B	A	A
		「修了論文・制作」を通して、主体的に学び、自分の考えを論理的にまとめ、発表する場を設け、自己表現力を磨かせる。	B	A	
		探究活動リリウムや学校行事を通して、相手の立場が自分とは異なることを理解したうえでの協働的活動を促し、様々な役割を務める機会を提供する。	B	A	
高校1年	○高校生活の習慣化 ○学習意欲の向上 ○新たな自分の発見	ステラ手帳を活用し、三点固定（起床・就寝・学習時間開始）の確立を図る。	B	B	B
		様々な活動を通して、今すべきことを考えて学習し、結果の振り返りから改善策を見出すよう促す。	B	B	
		校内外での研修などに積極的に参加し、自分の特性について考え、自分をより高めるよう促す。	B	A	
高校2年	○基本的生活習慣の確立 ○進路実現を意識した学習習慣の確立 ○進路意識の高揚	言語活動を通して他者への理解力と自己表現力を向上させる。	B	A	B
		基礎・基本の徹底とともに、苦手科目の克服、得意科目の伸長を図らせる。	B	B	
		修学旅行・姉妹校交流を通し、自らの在り方・生き方の視野を広げさせる。	A	A	
高校3年	○学習を中心とした生活習慣の定着 ○進路の目標に向かった進路学習の深化 ○人格形成のための経験値の伸長	考査や模試に向けて目標設定をした上で、学習計画を立てて実行し、事後の復習・振り返りを徹底する「自律的学習」を通して、学力の伸長を実感させる。	B	A	A
		志望大学のオープンキャンパス等に参加し、大学の教育方針や内容、研究内容やゼミ、部活・サークルなどの情報を進んで詳しく収集し、進路実現に生かす。	B	A	
		高校3年生としての責任を自覚し、校則等を順守し、日々の瀬営業や環境美化（教室内の整理整頓）にも丁寧に取り組める模範的な生徒を育成する。	B	A	
高校通信制課程	○通信制課程の高校生活の習慣化 ○学習意欲の向上 ○新たな自分の発見	ステラ手帳を活用し、三点固定（起床・就寝・学習開始時間）の確立を図る。	B	B	B
		スクーリング計画表・学習進捗状況表の使い方を指導し、それをベースに自分の学習のペースをつかめるように促す。	B	A	
		日常生活で、自分や他者を受け入れる心を持ち、互いに大切な存在であることに気づくよう働きかける。	A	A	